

「かたと〜る」立体手形の作り方



- 用意するもの**
 (子供の手型 1個分の場合)
 ①かたと〜る 250g 水1,000cc
 ②石こう③ボウル(攪拌容器) 2個
 ④泡だて器又はゴムべら(かたと〜る攪拌用)
 ⑤へら(石こう攪拌用)⑥ダンボールのカッター
 ⑦布ガムテープ

注意)
 石こうに使用する水の量は含まれておりません。石こうに使用する水の量はお買い求めの石こうの使用法に従ってください。



①外枠を作ります。手の大きさに合わせてダンボールで枠を作り、内側全体にガムテープを張り、**水が漏れない**よう止めをします。



②水の入ったボールに「かたと〜る」を入れて泡だて器(又はゴムべら)を使用し3分位を目安にクリーム状になるまでよくかき混ぜます。



③ダンボール枠に「かたと〜る」を流し込みます。粉末を水に投入してから流し込みまでは**5分以内**に完了してください。



④「かたと〜る」の中に手を入れて、手のひら全体に「かたと〜る」を馴染ませるように動かしたら、一旦手を抜きます。すぐに手の形を決めて再度「かたと〜る」の中に手を入れます。5分程度でゴム状に固まります。その間、**手を動かさない**ように注意してください。予めハンドクリームを手に塗っておくと手が抜きやすくなります。



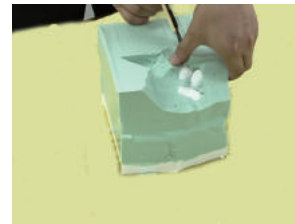
⑤「かたと〜る」がゴム状に固まったら、手と「かたと〜る」の間に空気を入れながら静かに手を抜きます。



⑦型の半分くらいまで石こうを流し込み、ダンボール枠を軽くたたき、「かたと〜る」型内の石こうの空気抜きをします。この作業を2回程繰り返して、最後に「かたと〜る」の型から2cm程上まで石こうを流し込み土台を作ります。



⑧約1時間後、石こうが固まったことを確認し、カッター等でダンボール枠を外します。

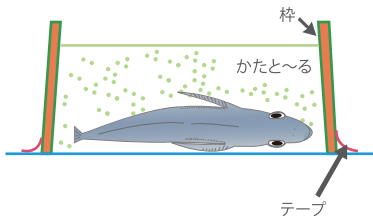


⑨カッター等で切り込みを入れ、「かたと〜る」を剥がします。中の石こうを**傷つけない**ように注意してください。



⑩完成です。石こうの手型は、風通しの良い場所で充分に乾燥させてください。

立体魚拓をつくらう!!

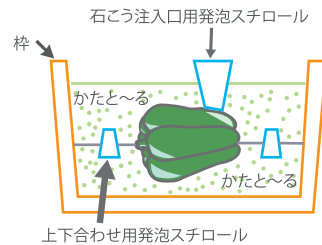


比較的うすい原型の立体面を再現したい場合
 例) 魚の半面、植物の葉、木彫面、粘土レリーフなど

- ①型を取る原型を左図のように台の上に載せます。
- ②原型の周りに段ボールや木などで枠を作り、「かたと〜る」が漏れないようにテープ等で止めをします。
- ③「かたと〜る」を水と混ぜ、上から流し込みます。
- ④ゴムのように固まったら、型を裏返して底から原型を取り出します。
- ⑤出来上がった「かたと〜る」の型に石こうを流し込みます。

※使用した原型は食べないでください。

野菜の複製をつくらう!!



原型のまま標本で置けない物の複製
 例) 野菜、果実、軟体動物等

- ①型をまるごと取る場合には、原型の半分を型取り、その上に残り半分の型を取る方法で行います。(上下の「かたと〜る」はくっつきません)
- ②割り型がずれないようにするため、下半分の型を取る際に、発泡スチロールを半分入れて固め、上半分の型を取る前に発泡スチロールをはずし、出来た穴に「かたと〜る」を流し込むと割り型が合わせやすくなります。
- ③原型は、取り出す際に抜きやすい向きを考慮してセットしてください。
- ④石こう注入口の発泡スチロールを外し、石こうを流し込みます。

※使用した原型は食べないでください。